

【第2章】大阪市国民健康保険事業の特徴

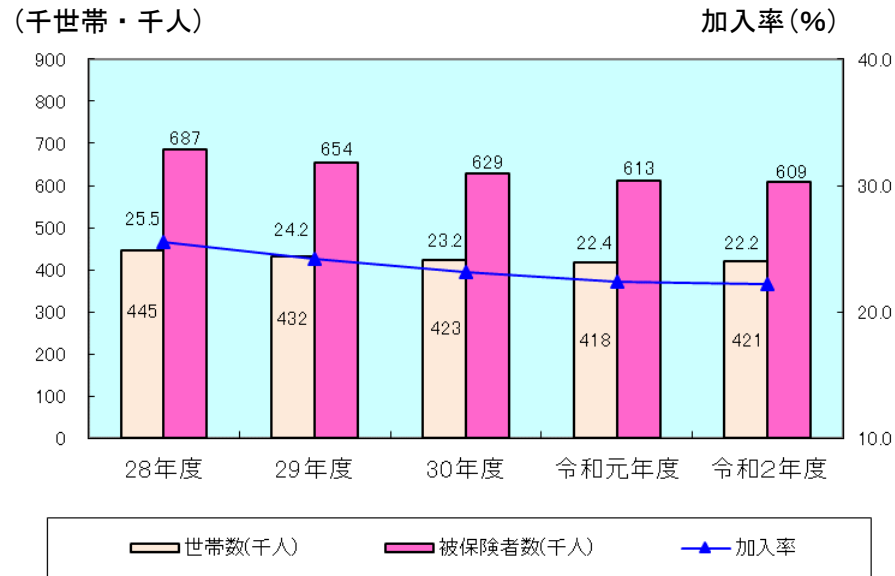
加入者割合

大阪市では、市民の22.2%にあたる60万9千人の方が国民健康保険に加入している。

その加入率は、政令指定都市の中で最も高い。

【大阪市の推移】

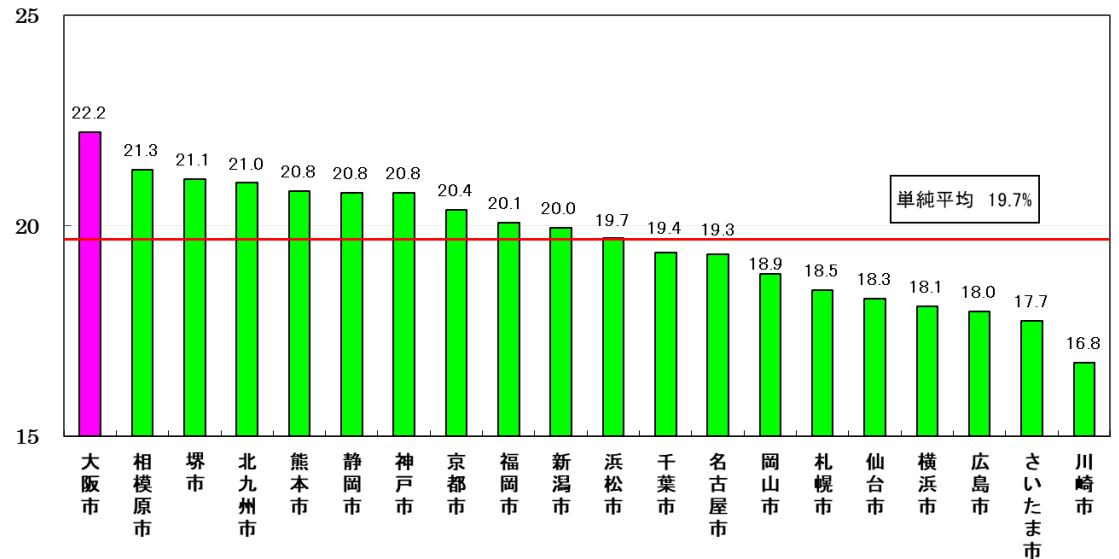
世帯数・被保険者数
(千世帯・千人)



(令和3年3月末現在)

【政令市比較】

加入率(%)



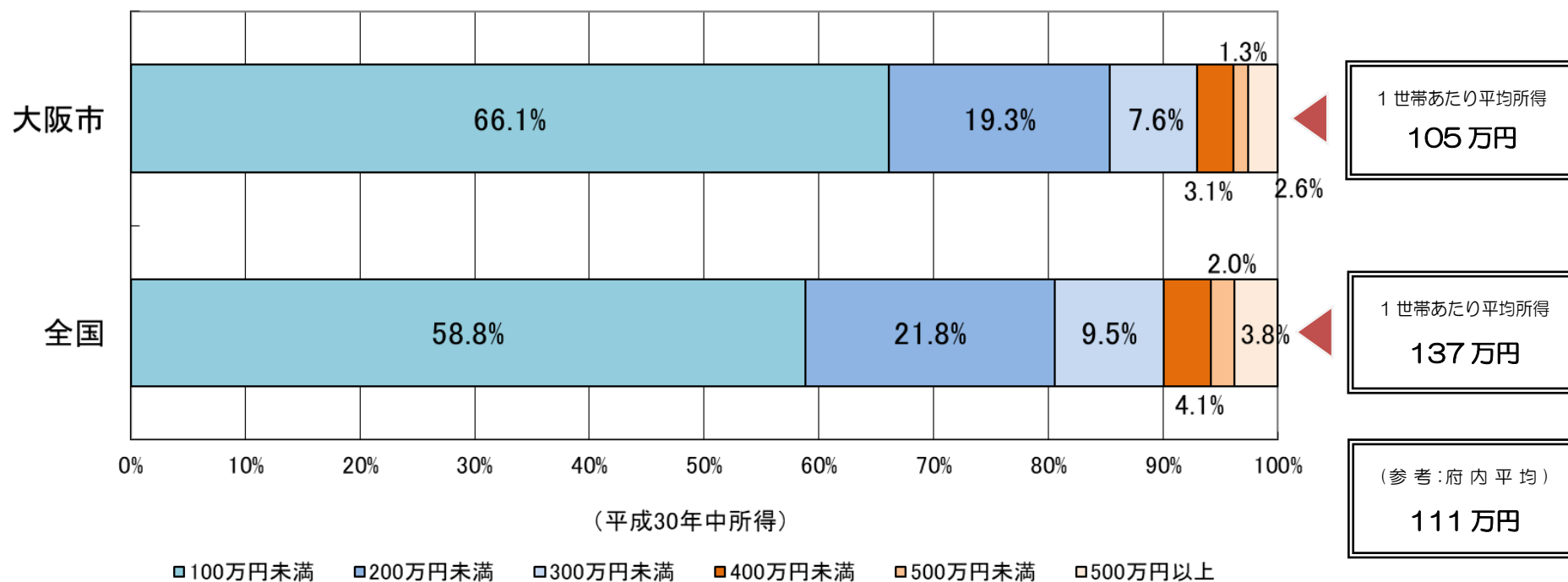
(令和3年3月末現在)

加入者の所得構成

大阪市の国保加入世帯における所得 100 万円未満の低所得世帯の割合は、全国平均よりも高く、約 2/3 が 100 万円未満。

1 世帯あたり平均所得は全国平均の 3/4 程度。

国民健康保険加入世帯の所得状況



(全国及び府内数値: 令和元年度国民健康保険実態調査資料より)

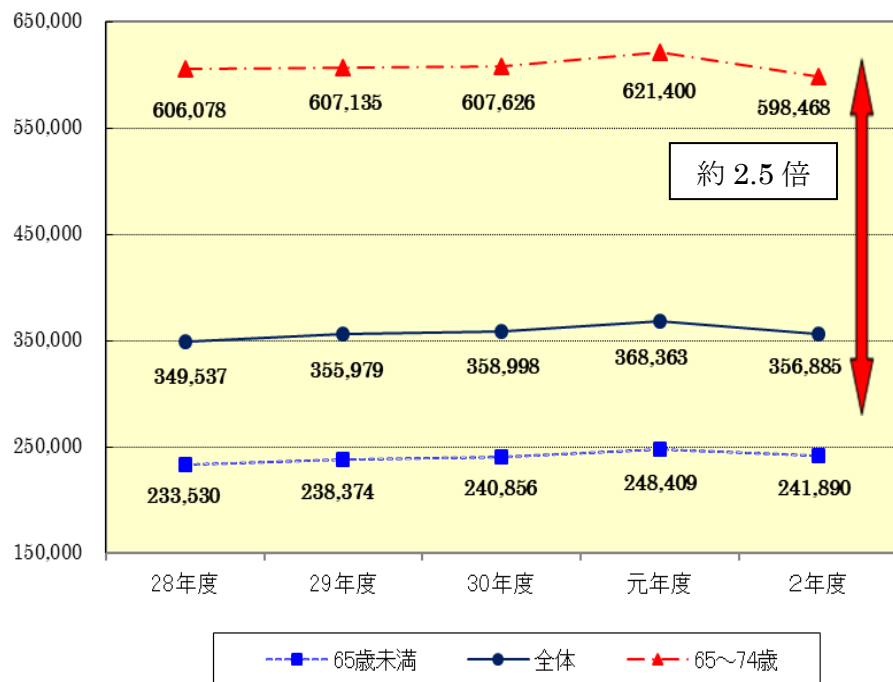
※1 世帯あたり平均所得は過去 5 年平均

医療費の推移

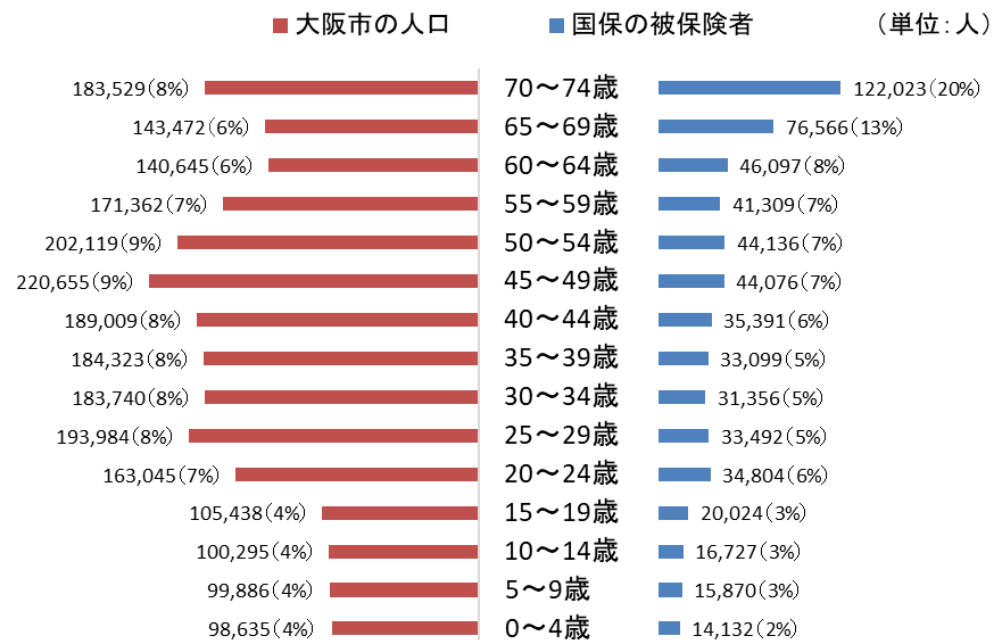
- 65歳以上の方の1人当たり医療費は、65歳未満の医療費の約2.5倍となっている。
 - 高齢化の進展や医療の高度化により、医療費は増加傾向にある。
- (令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う受診控え等により減少)

【1人当たり医療費の推移：大阪市】

(単位：円)



【被保険者の年齢構成】



※() 大阪市の人口に対する年齢階層別の構成割合 ※() 国保の被保険者に対する年齢階層別の構成割合

(令和3年3月末現在)

※令和元年度の1人当たり医療費は、消費税率引上げに伴う診療報酬改定の影響により増加。